

ミミちゃんのやさしい心にもふと魔がさします
そんなときお母さんのあたたかな心がささえます

ミミちゃんの ててて

作 ゆめなか@情報局
中村由利江



製作・著作
アニメーション画房 わ組
ジャパンホームビデオ(株)

アニメーション18分

16mm価格 ￥168,000(税込)
VHS・DVD価格 ￥42,000(税込)
幼稚園・学校価格 ￥21,000(税込)

ミミちゃん てとてとて

うさぎのミミちゃんは、折り紙とお母さんに本を読んでもらうのが大好きな女の子。菜の花通り三丁目の青い屋根に赤い風見鶏のお家に、お父さん、お母さん、妹のモモちゃんが住んでいます。今日は楽しいピクニック。お父さんに甘えて肩車をしてもらったり、お母さんのおいしいお弁当を食べたり、いっぱい遊んだりして、楽しくて仕方ありません。そんなミミちゃんの家に悲しいことが起こりました。お父さんが病気になってしまったのです。お母さんは、お父さんの看病とまだ赤ちゃんのモモちゃんの世話を大忙し。ミミちゃんもお母さんのお手伝いをしてがんばります。折り紙で鶴を折りながら、お父さんの病気が早く良くなつてまた遊んで欲しいと願っています。しかし、お父さんの病気はなかなか治りません。お母さんに本を読んでもらいながら寝る事もなくなりました。ミミちゃんはだんだん淋しく悲しくなってきます。そんな時、お休みの日もどこへも遊びに行けなくなつたミミちゃんは友だちの自慢話を聞き、うらやましい気持ちでいっぱいです。「ミミだって、ミミ だってお父さんの病気が治ったら、遊びに連れていくつもらうんだもん」悲しい気持ちで歩いているミミちゃんは、お母さんとよく来るショッピングセンターの前に来ました。「折り紙を見て帰ろう!」と思うと急に楽しくなり、文具コーナーに行きます。そこには、新しい折り紙がいっぱい。ミミちゃんは「これで鶴を折ってお父さんにプレゼントしたらきっと喜んでくれる。でも、お母さんと一緒に買つてももらえない。でも、こんなにいっぱいあるんだから一つぐらい持つて帰ってもいいよね」と思っています。頭の中では、お父さんの喜ぶ顔が浮かびます。ミミちゃんは、考えて、考えて、考えてついにポケットの中に……。いつものミミちゃんではなくなつてしましました。眼はキヨロキヨロし、耳が立つて体中コチコチです。



あらすじ

子どもの『万引き』が増えています
子どもたちにとって、スーパー・マーケットや文房具店、本屋、お菓子屋に行けば手に届くところに欲しい物がいっぱいあります。お金払わないで品物をこっそり持って来てしまうこと、これは犯罪です。始めは軽い気持ちでも、これをくり返してしているうちに罪の意識が薄れ、さらに大きな罪を犯すようになります。万引きは『犯罪』であることを子どもにしっかりと理解させなければなりません。また、万引きをしてしまった子どもの心から発する言葉を受け止めてあげなければなりません。

そんなミミちゃんを見ていた人がいました。店員のヤギおばさんです。ヤギおばさんは、ミミちゃんにやさしく話かけます。ミミちゃんは、急に淋しくて、悲しくて、つらくなつて泣き出します。連絡を受けたお母さんが、駆けつけます。ミミちゃんを抱きしめ、折り紙が欲しかったわけを聞きます。盗った折り紙で、お父さんにプレゼントしても、決して喜ばない事をお母さんは、ミミちゃんに言います。ミミちゃんは、本当に悪い事をしたと、ヤギおばさんに、お母さんと一緒に謝ります。ミミちゃんの淋しい気持ちを知ったお母さんは、ミミちゃんだけのお母さんの時間を作り、本を読んであげます。ミミちゃんはお母さんに抱っこされとってもうれしそうです。そして、ミミちゃんにいつもの『お母さんのあまじないの歌』を歌ってあげます。それから、ミミちゃんは、心が淋しくなつた時、『お母さんのあまじないの歌』を思い出してがんばりました。お母さんもお父さんが早くよくなるようにがんばりました。そして、お父さんも元気になり、また楽しいピクニックです。

♪ ミーミちゃんのてとてとて
おかあーさんのてとてとて
この手はね やさしい手
この手はね はげます手
この手は この手は ↗
ぎゅっと ぎゅっと 抱きしめる
だから だまってとりません
ほしいときは ほしいときは
お金を払って買いましょう
これは大事なお約束
ミーミちゃんのてとてとて ↗
おかあーさんのてとてとて
♪ かわいいミミちゃんのこの手は
ほーらおりこうさんの手になりましたよ ↗

●お問い合わせお申し込みは

(株)オプチカル 販売課 教育映像係
香川県高松市屋島西町2484-8
TEL 087-841-1100
FAX 087-841-1101